

寄付金の使い道

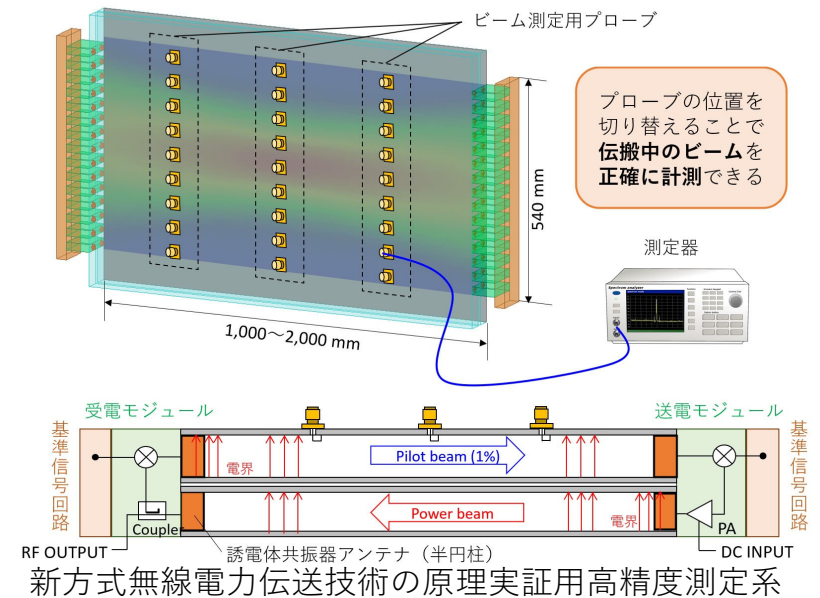
今回のクラウドファンディングの目標金額としては650万円として皆様から頂くご支援金は原理実証試験装置の

- ①高周波部品購入費用、
- ②外注試作アSEMBル費用、
- ③測定用治工具の外注試作費用、
- ④電磁界設計ツール購入費用、
- ⑤回路解析ツール購入費用を賄うために充てていきます。

第1目標である200万円を超えた後は、第2目標として、外注の回路アSEMBル費用を賄うために400万円を目指し、最終目標として導波路構成と測定系の費用全体を賄うことができる650万円を目指していきます。**第1目標に達しない場合は規約により全額返金となります。**

スケジュール

2021年5月－2021年7月	回路設計＋構造設計
2021年8月－2021年10月	部品発注＋実験システム詳細設計
2021年11月－2022年1月	回路アSEMBル＋導波路組立て
2022年2月－2022年3月	シミュレーションとの比較測定
2022年4月－2022年6月	回路解析＋調整＋再測定＋報告書



平行な金属板を用いて、2次元導波路を作り誘電体共振器アンテナよりビーム伝搬させる。アンテナ素子数は圧倒的に少なくなるが、鉛直方向の拡散は3次元と同様の方程式が適用される。測定は導波路を構成する金属板に取り付けた電磁界プローブにより電磁界分布測定と漏洩量の測定を行う。

2組の導波管を用いることによりパイロットビームとパワービームが完全に分離され独立な測定が可能になります。さらに3次元ビームの中心部までに相当する電磁界分布を導波管表面で高精度に測定することが期待できます。

本測定系により新方式の動作原理の実証が可能となります